

猿沢地区振興会だより

発行元
〒029-0431
大東町猿沢字板倉 57-1
(猿沢市民センター内)
猿沢地区振興会

夏野菜カレー 作りに挑戦



にこにこ児童クラブの子どもたちが「夏野菜カレー」作りに挑戦していました。

指導員の先生の指示に従い、皮むきや野菜切りに夢中になっていました。

夏野菜たっぷりの美味しいカレーが完成し、子どもたちは「早く食べたい!」と待ちきれず、ちょっぴり早い昼食をとっていました(笑) お友達と一緒に作ったカレーは格別ようです。苦手

な野菜が入っていても、不思議と食べれちゃうんですね(笑)

夏休み中の、にこにこ児童クラブは8月18日(水)で無事に終了しました。



美味しいっ♡



猿沢の避暑スポット



毎日30度を超える暑い日が続いています。暑さしのぎに湯王の滝に涼みに行ってきました。

外は日差しが強く、立っているだけで汗が止まらなくなるのに、湯王の滝はぐっと気温が下がり、川に入ると寒いくらいでした。景色もよくて、涼しくて、夏にぴったりの避暑スポットです。是非皆さんも遊びに行ってみてください♪

全国大会中止



8月5日(木)~8日(日)千葉県白子町で開催予定だった「第38回全日本小学生ソフトテニス選手大会」が千葉県に緊急事態宣言が発令されたことにより、出発前日に中止となってしまいました。

猿沢小学校4年菊地煌成(こうせい)君が出場する予定でした。煌成君は「はやくコロナが落ち着いてほしい。来年は岩手予選を優勝して、全国大会に行きたい。今年出れなかった他の選手の分も、来年こそは上位を狙って頑張りたい!」と話してくれました。

来年は、さらに成長した煌成くんの姿が見れることを楽しみにしています。



▽▽▽▽▽

猿沢小学校4年
菊地 煌成くん(3区)



猿沢の地名

猿沢の地名については、色々な説があります。どれも本当のようですが定かではありません。みんなで考えてみましょう！当時の館報では4つの説を紹介していますが今回はそのうち2つを紹介します。

猿沢公民館時代の懐かしい館報の記事を見つけたのでシリーズでお届けします。

①猿沢村誌 (村上正雄氏編・昭和10年～12年猿沢村長)

これによると、「藤原氏江刺群豊田(餅田)二起り平泉ニ移リ、三代ノ豪華ハ平泉ヲ京ニ模シ、木村ヲ奈良ノ猿沢ニ模シタリト言ウ木村ノ村名ココニ発シタリト言ウ、其ノ猿沢ノ池今尚清水田ニ小池存シ」として猿沢の地名の由来が述べられてある。

即ち藤原清衡が江刺の豊田館を出て平泉に居を構え、基衡、秀衡三代にわたり燦然たる文化を築いて京都に模し、北上川を隔てた東の方東稲山に続く地を東山に見立て、また奈良興福寺の猿沢の池に似た池のある地を猿沢と称した。そしてこの地名のもととなった小池が今も残されてあるということである。

②猿沢の歴史 (大町裏 及川千蔵氏 蔵)

猿沢の歴史(写本)によれば、「当村明戸屋敷ノ庄屋繁太夫成ル者伊勢参宮之後奈良ノ猿沢ノ池ヲ当時ノ池ニ事異不成ヲ見、其ノ形ヲ取り仙台ノ大主ニ上進ヲ願イ、我一人ノ心発ニテ猿沢池村ト願イ申シ候エバ仙台公鼓気御間届出書ヲ下ス磐井郡東山猿沢池村トナリタリト云ウ。

(中略)年経過ノ後ニ、村名ハ数字ヲ单字ニ願イ池ヲ取りテ猿沢村トナシ、是レ又御間キ相成リテ東山猿沢村トナリ」と。

「数字ヲ单字ニ」とは「多い字数を少ない字数に」ということ。

「猿沢の池」は字清水田にある。宝暦2年(1752)6月23日夜、家が流され、川筋も変わる程の大洪水で土砂が押し入り小池となってしまったが地名発祥のゆかりの池として現在も大切に保管されている。

猿沢の行政区別人口と世帯数
7月末現在

区	世帯数	男	女	合計	比較
1区	54	72	80	152	0
2区	46	49	44	93	0
3区	69	86	86	172	-2
4区	46	78	73	151	0
5区	28	40	52	92	0
6区	37	50	51	101	0
7区	37	56	43	99	0
8区	51	79	75	154	-1
9区	24	30	34	64	0
10区	52	65	66	131	-1
11区	85	118	126	244	-1
12区	36	51	45	96	0
13区	19	27	28	55	1
合計	584	801	803	1604	-4